

編集委員会

日本医学物理学会 会長 殿

平成25（2013）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 葦原伸一

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	葦原伸一◎、磯辺智範、遠藤暁、金澤光隆、兼松伸幸、館岡邦彦、長谷川智之、渡部浩司 榮武二（担当理事）
今年度課題	昨年度後半の編集方針の見直しで投稿原稿を和文誌のみとし、解説原稿を中心とした学会機関誌とすることになったが、これを軌道に乗せ、かつ会誌発行時期の遅れを今年度中にとりもどす。
委員会開催 履歴	4月12日 於：パシフィコ横浜 出席8名 9月17日 於：大阪大学コンベンションセンター、 出席6名
総括 不足の場合は別紙付加可	<p>(1) 今年度は会誌発行時期の遅れを挽回すべく、32巻3号（4月発行）、32巻4号（7月）、33巻1号（9月）、33巻2号（11月）、33巻3号（1月）、33巻4号（2月末）と、この1年で合計6巻を発行した。発行月としてまだ若干の遅れはあるが、来年度は、本来の年4巻（34巻1号～4号）に戻れる見通しを得た。また解説記事についても、学術大会特集号と編集委員会企画を交互に発行するとともに、連載解説も開始できた。すでに34巻2号までは解説記事の見通しを得ている。また学会参加報告や学術大会受賞報告もパターンの定期で掲載できる状況になった。</p> <p>(2) 昨年度前半までに比べて、少なくとも量的には大きな改善を実現できた。今後は、編集委員会独自の企画を増やすとともに、他委員会と連携したような企画も望ましいと考えられる。</p> <p>(3) 一方、会員からの和文投稿論文は少ないままだが、技術報告や資料の投稿は以前と同じ程度にある。研究論文は英文誌への投稿が主になるので、技術報告・資料の投稿を呼びかける活動も今後強化すべきである。</p> <p>(4) J-STAGEでの公開については、以前公開済み（2008年までの全学会誌）に加えて、それ以降についても掲載公開できることが学術振興機構から認められた。発行後、6ヶ月以上を経過したものから順次掲載を進めるとともに、2009年以降の未公開誌についても公開の作業を進める。これについてはアップロードの作業が遅れており、来年度中には定期的な公開が行えるようにする必要がある。</p>